

ご・あ・ん・ない

募集

1 財芦屋市文化振興財団職員
 ●職種…一般事務職●採用人員…1人●
 受験資格…昭和44年4月2日以降出生の短大以上を卒業した人、または来春卒業見込みの人●応募期間…12月15日(水)～12月27日(月)●試験日…平成6年1月16日(日)9時30分～●試験会場…美術博物館●給与…短大卒、月額14万9820円以上●問い合わせ…財団事務局総務部(業平町8-24、市民センター内、☎31-4962)

1 平成6年度保育所入所児童
 ●対象…市内在住で保護者が就労などのため保育できない家庭の児童(平成6年4月1日現在、生後3カ月経過後～満5歳)●申請用紙の配布と申し込み…平成6年1月6日(木)～21日(金)に保育課窓口へ●問い合わせ…保育課(☎38-2045)へ

1 県立こばと雙学校平成6年度入学児童
 ●募集人数…1歳児7人・2歳～5歳児各若干名●資格…阪神地区に居住し、聴覚に障害を持つ1歳から5歳の幼児で、保護者が付き添って通学のできる人●受付期間…平成6年1月17日(月)～2月16日(水)8時30分～17時(土曜日は12時30分まで、第2土曜日除く)●面接日…平成6年2月17日(木)9時30分～14時●問い合わせ…県立こばと雙学校(西宮市田近野町8-8、☎079-8-53-5061)

1 国立府営大阪障害者職業能力開発校生
 障害のある人たちが職業に必要な技術・知識などを習得し、就職・自営を容易にした訓練施設です。
 ●対象…身体に障害のある人で、症状が固定し自分で身辺処理のできる人●科目…情報処理・メカトロ技術(第1、第2)・製版アート・パペラルほか●課程期間…1年(情報処理・第1メカトロ技術のみ2年)●募集期間…平成6年2月10日(木)まで●選考日…平成6年2月22日(火)9時から●問い合わせ…大阪障害者職業能力開発校(☎0722-96-8311)

1 平成6年度大山荘の里市民農園利用者
 丹南町では、平成4年度から整備していた市民農園が完成し平成6年4月から利用できることになりました。
 ●利用期間…平成6年4月1日～翌年2月末●募集区画・会費…①クラインガルテナイプ(小舎付農園)23区画(150㎡、小舎10.5㎡)・約15万円②貸農園タイプ106区画(50㎡)・約2万5000円●受付期間…平成6年1月末日まで●問い合わせ…丹南町役場企画室(☎0795-94-1131)

おしらせ

1 12月から国民健康保険証が変わりました
 12月1日から新しい保険証が変わっています。まだ更新していないかたは保険証の窓口までお越しください。更新には次のものが必要です。現在お持ちの保険証、更新通知はがき、印鑑、(㊟)㊟保険証の交付を受けておら

れるかたはあわせてご持参ください) 問い合わせは、保険年金課保険係(☎38-2035)へ。

1 国民年金保険料の納付には口座振替のご利用を
 国民年金保険料の納期は毎月月末となっておりますが、ついうっかりの保険料納付忘れのないよう口座振替の利用をおすすめします。

市指定の銀行または市役所年金係(郵便局での口座振替の申し込みは取引郵便局)で受け付けをしますので、預金通帳・通帳の届出印鑑・年金手帳を持参して手続きをしてください。

振替日は毎月20日です。申し込み後1～2ヶ月後から振替開始となります。開始月の10日ごろ口座振替開始の通知書をお送りします。

問い合わせは、保険年金課年金係(☎38-2036)へ。

1 ご家庭の庭などの清掃・除草をいたします

仕事を通じて知的障害者の社会参加を促すため、庭の除草等、屋外の仕事を探しています。(有料) 問い合わせは、経済課内「芦屋わかば会事務局」(☎38-2033)へ。

1 インテリジェント交番

1 交番ロボット(まもる君)の設置
 12月10日からJR芦屋駅前交番に、留守番ロボットが設置されました。芦屋警察とホットラインで結ばれていますので交番勤務員がご利用ください。問い合わせは、芦屋警察署(☎23-0110)へ。

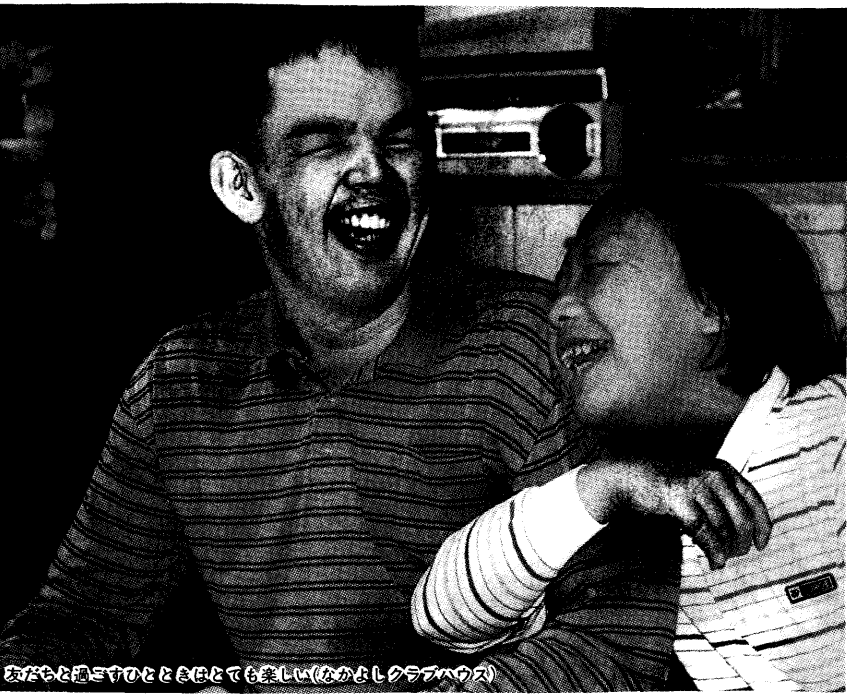


1 丹波少年自然の家

冬季11月中旬～3月中旬の間は、混雑もなく利用しやすくなっています。家族・グループなどの健康的な余暇利用や、企業・公共団体・社会教育団体・スポーツ団体の合宿・研修等にご利用ください。問い合わせは、丹波少年自然の家(氷上郡青垣町西芦田イゲ32-2、☎0795-87-1633)へ。

| 納期 | |
|--------------------------|-----------------------|
| 国民年金保険料12月分 | 問い合わせ●保険年金課(☎38-2036) |
| 固定資産税・都市計画税 | 第3期分 12月1日～12月27日 |
| 法人市民税・事業税 | 10月決算法人 12月1日～12月28日 |
| 市税の納付には、便利な口座振替をご利用ください。 | 問い合わせ●税務管理課(☎38-2015) |

毎月20日は「阪神地域ノーマイカーデー」



法外日常生活用具の購入補助制度
 福祉法では、車いすや補聴器、特殊ベッド等の補装具や日常生活用具を給付することにより、障害からおくる不便さ不自由さの軽減をはかっています。しかし、障害の内容や等級により、用具を交付できない場合や、その用具が法で認められていない品目に含まれていない場合があります。例えば、心臓や呼吸器に障害がある内部障害者のかたが「車いす」を希望された場合、福祉法では「車いす」は、肢体不自由のかたが対象となりますので交付が受けられません。また、喉にタンが溜まり呼吸困難になるので「吸引器」が必要だと希望されても、「吸引器」は福祉法による日常生活用具には含まれていないために補助はありません。そのようなときに利用できる制度が、本市独自の「法外日常生活用具の購入補助制度」です。これは、障害の内容・程度に限定されず、福祉法では対象になっていないことも、特に必要とする日常生活用具を購入する費用の一部を補助する制度で、平成4年度から実施しています。補助額の限度は十数万円で、世帯の所得税額に応じて補助率が異なります。なお、年度における補助は一回のみです。日常生活用具等の購入希望があれば一度ご相談ください。

ご存じですか

●障害者相談日
 日時…毎週金曜日(第5金曜日除く) 午後1時30分～3時30分
 場所…市役所南館1階福祉相談室

| | |
|-----------|---------|
| 第1・3・4金曜日 | 身体障害者相談 |
| 第2金曜日 | 精神薄弱者相談 |

●身体障害者相談員

| 氏名 | 住所 | 電話 | 参考 |
|-------|-------------|----------------|----|
| 酒井すみれ | 三条町14-9 | 23-1956 | 肢体 |
| 亀山 麗子 | 大原町4-6-105 | 32-7986(FAX兼用) | 聴覚 |
| 横山 和夫 | 南宮町9-29-401 | 31-2032 | 内部 |
| 中 愛子 | 大原町6-7 | 22-2283(FAX兼用) | 聴覚 |

●精神薄弱者相談員

| 氏名 | 住所 | 電話 |
|-------|-----------------------------|--------------------|
| 堺 執 | 翠ヶ丘町11-43-403 (三田谷治療教育院) | 31-7871 22-5025 |
| 福田十四子 | 茶屋之町4-5 | 31-7727 |

障害者福祉の新しい風

「精神が薄くて弱い」
 「精神が薄くて弱い」
 「精神が薄くて弱い」



「社会的弱者である障害者に対して上から与える福祉から「権利を創発」されてきた市民へのリハビリ(権利回復)としての福祉」への変化です。ここに至るまで、多くの市民の思想が日本の福祉の現場に定着したと言えます。この変化の大きな力になったのは、多くの市民のかたが福祉に関心を持ち、実際にボランティアを通して参加してくださったことによります。福祉の専門家が一人いるよりも、十人のボランティアがいるほうが福祉の発展には力になります。福祉というのは一部の人の問題ではなく、市民全員で考えるべき問題なのです。

高齢者がいて、知的に、身体にハンディのある人がいて、女性がいて、多様な人がそれぞれの価値観を共有しながら豊かな社会を築く、それが福祉の目指す一つのゴールでしょう。「上から下へ」「強者から弱者へ」という、縦の構造からの脱皮は、市民一人ひとりが福祉に対して関心を持つことによってのみ可能であると思います。車いすで通行できる道は、妊婦にも、幼児にも、老人にも、足を怪我している人にもやさしい道です。知的にハンディのある人に理解を求めず地域社会は、心の豊かさを持った社会です。競争から共生へ、福祉のこの考えを多くの市民の人に理解し、体験していただきたいと思っています。

「精神が薄くて弱い」
 「精神が薄くて弱い」
 「精神が薄くて弱い」

「精神が薄くて弱い」
 「精神が薄くて弱い」
 「精神が薄くて弱い」

「精神が薄くて弱い」
 「精神が薄くて弱い」
 「精神が薄くて弱い」

「精神薄弱」をプラスのイメージに

なかよしクラブ
 ハウス 代表
 川崎 富子

市内の学校のこと。
 「子どもが家へ帰ってきて、ぼくがガイシャ(障害者の障を省略している)と、言うのです」とお母さん。その子は何かのことから、友達に言われたまま、嬉しそうにお母さんに話したそうです。これが「害虫だったら殺虫剤を」と考え、そして「でも、そのような例は無数にありませぬ」

福祉の目指すゴール

障害者施設職員
 東芦屋町在住
 西村 隆

「精神的弱者である障害者に対して上から与える福祉から「権利を創発」されてきた市民へのリハビリ(権利回復)としての福祉」への変化です。ここに至るまで、多くの市民の思想が日本の福祉の現場に定着したと言えます。この変化の大きな力になったのは、多くの市民のかたが福祉に関心を持ち、実際にボランティアを通して参加してくださったことによります。福祉の専門家が一人いるよりも、十人のボランティアがいるほうが福祉の発展には力になります。福祉というのは一部の人の問題ではなく、市民全員で考えるべき問題なのです。

人を育てて社会を変える

芦屋市手をつなぐ
 親の会 会長
 朝日ヶ丘町在住
 木村 芳子

近年、精神薄弱者育成会(手をつなぐ親の会)の福祉大会等で、知的障害者の地域参加と、すべての人が住みよいまちづくりを目指して、頑張っていることと提案されています。しかし、健常児は近くの学校に、知的ハンディを持った子どもは、兄弟とは別の、地域から離れた養護学校に通う現状で、この問題がはたして解決されるのでしょうか。

ひとひと 女と男 バランスある社会へ 高齢化社会と女性

「老後の生活と介護に関する調査」(総務庁、平成四年九月)によると、介護が必要となる場合に介護をして欲しい人は配偶者を中心とした家族である、という回答が五五・七〇%を占めています。配偶者を介護人として希望する数字が男女別に見ると、男性が七〇・九%、女性が一九・七%と、男女によって配偶者に対する期待度大きな差が見られ、それは、女性に対する期待となって現れています。高齢化社会で最も大きな問題は介護を必要とする量の増加と介護力の低下です。従来は多くの場合、妻や嫁としての女性がその任にあたってきましたが、現在では、さまざまな社会変化の中で女性のみが担う役割分担がなく、制度の充実や地域の支援体制など社会全体が担う、介護の社会化が必要になってきます。また、高齢化社会は、構造的な労働力不足を生み、男性の労働力だけでは補いきれない状況にいたっています。女性の労働力を確保する上でも依然として女性に介護の負担が続くことは、社会の実態と符合しなくなっていくでしょう。

高齢化は女性の生き方に大きな影響をもたらしているとの認識とともに、介護の社会化を重要な課題として今後とも取り組んでいかねばならないと考えます。

体育館・青少年センター関係施設の年末年始使用について

川西運動場は、12月25日(土)から1月4日(火)まで、ご家族や子ども達の広場として開放します。中央公園野球場とテニスコートは、12月27日(月)から1月4日(火)まで、使用できません。

整備のため次の施設を閉鎖をします
 「中央公園野球場」12月20日(月)～22日(水)
 「東浜テニスコート」12月15日(水)のみ
 「西浜テニスコート」12月16日(木)のみ
 問い合わせ●体育館・青少年センター総務係(☎31-8228)

第15回阪神婦人のつどい

いま分かち合いたいヒューマンな豊かさを一豊かさを実感できる男女共生社会をめざして一 男女共生社会の実現に向けて女性問題の解決に取り組むために開催します。

日時 1月19日(水)午後1時開会
 会場 ルナ・ホール
 講演 「思いやりのすすめ」
 講師 鈴木治彦(元TBSアナウンサー)
 アトラクション 女人舞樂(あしや舞樂会)
 問い合わせ●市長室女性施策担当(☎38-2007)

こちら消費生活センターです
 経済課内☎38-2034

資格法にご用心
 資格を取って暮らしに役立てようとする人が増えてきましたが、それに便乗した悪質な商法も多くなってきました。多くは職場や自宅に電話がかかり、「近々国家資格となるが、今なら講習を受けるだけで資格がとれる!」もつうず定員あなただけ最後と特別有利な条件で受講できるかのようセールストークで巧みに勧誘します。

あいまいな返事をしていると承諾したとみなされて受講料等を請求され、契約した覚えがないと申し出ても、契約成立を主張されて、トラブルとなる場合があります。

あいまいな返事はトラブルのもと! いらぬものは「いらぬ」とはっきり断わりましょう。

平成5年度 第7回芦屋市学校給食展

テーマ 20億人の主食・お米



毎年行われる芦屋市学校給食展が、十一月十一日から十三日の三日間、芦屋市民センターで開催されました。

今年「二十億人の主食・お米」をテーマに、学校給食に関する児童作品や学校栄養職員の研究調査の成果が展示されました。

市内はもとより、他市からの参加者も年々増え、子ども達にもすっかり定着した催しとなりました。

本号ではその様子をお知らせします。十一月十一日(木)正午、テープカットにより第七回芦屋市学校給食展の幕が開きました。

Aロビーには児童作品、Bロビーには学校栄養職員の調査研究のパネルが展示されました。

児童作品コーナー

会場入り口には、潮見小の子ども達がわらで作ったかかしがほほえみ足元には発砲スチロールで作ったたぐさのおにぎりが並べられています。その横には打出浜小の二年生が丹精込めて育て収穫した稲が、稲木にかけられています。これは生活科

奥に入ると、壁面いっぱいの子どもの絵や新聞が展示されています。給食当番をする友達や作業する調理士さんの姿が生き生きとしたタッチで表現されています。朝日ヶ丘小の友達作品には、今年から導入されたポリカーボネート食器の絵柄が丁寧に描かれ、新しい食器に対する愛着が伝わってくるようです。浜風小の給食新聞には「一年生のみなさんへ」と題して、給食の準備

教育のページ

このページの問い合わせは市教委学校教育部(☎332087)へ。



第8回を迎えたコミスク合同文化祭が、今年も開催されました。

11月13日午後、ルナ・ホールにおいて、コーラス・舞踊を中心としたステージ発表が行われ、日ごろの練習の成果を披露し、年々向上する腕前に観客は、十分楽しみ満足しました。

11月26日～28日には、市民センターにおいて、手芸・絵画・木彫・書道・生け花・折り紙・陶芸などの作品展示が行われ、子どもと大人の作品がうまく調和して、高度な技術の作品に目を奪われました。努力の跡が十分にみられ、素晴らしい作品展示でした。

ご来場のかたに感想を語っていただきました。「展示をみて、私も作ってみたいと思いました。皆さん素晴らしい作品で自分にできるか心配になりました。でも、ぜひ、参加したいと思いました」「どのコミスクも努力され、工夫された素晴らしい展示でした」「楽しい展示を見せてもらいました、ありがとう」など多くのかたがたに褒めてもらいました。

コミスクでは、地域の人々の心のふるさとである学校を中心に、文化・スポーツなどの活動を通じて交流の輪が広がり、さらに、地域の福祉活動やボランティア活動へと発展させ、より住みよいまちづくりをめざしています。多くの人の参加をお待ちしています。

や片付けの仕方、食事マナーについてわかりやすく書かれています。

岩園小は「栄養士の先生の一日」や「調理士さんの願い」を特集し、忙しい一日の様子が伝わってきます。

山手小は「新しい食器の使いこころ」のアンケート結果を掲載しています。明るくてきれい、熱くない、おいしく見える等評判は上々です。これらの新聞は五・六年生で構成する給食委員会編集したものです。

会場の中央には、精道小四年生が制作したフルーツポンチがおいしそうに並んでいます。スライムという粘土のように変形自在の素材で本物そっくりに仕上がっています。じつと見入っていらつしやる市民のかたがたたくさんおられました。

続いて展示されているのは三条小一年生のおもちやお弁当です。小さなおにぎりや卵焼き、かまぼこがぎっしり詰まっています。宮川小からはお釜や一升ます等、今では使うことのなくなった昔の道具が出品されました。

栄養職員研究会コーナー

広いロビーにパネルが見やすくレイアウトされています。

最初のパネルは「世界の米の生産量」です。一位は中国、二位インド、日本は八位です。他には次のタイトルの展示がありました。「米を主食とする人口」、「米のルーツと伝来」、「銘柄米のできるまで」、「一粒の米のできるまで」、「お米が届くまで」、「米から作られるもの」、「読めるかな 米備の漢字」など、今凶作で話題になっているお米ですから興味を引き付けます。特に高学年には社会科学習と関連して参考になる調査研究ばかりです。

ロビー中央の試食コーナーには、市内九校のその日の献立が並べられ、酢ごぼやレバーマリネ、ワインゼリー等のデザートが出されました。「試食コーナーが楽しみ」と毎年来てくださる市民もおられます。手作りを心掛け、昆布やいりごを使っただしにこだわる栄養職員や調理士さんの熱意が伝わってきます。



給食展に寄せていただいた感想を紹介いたします。

- 子どもの作品には学校の特色が出ていて楽しく見ることができた。
- 給食新聞等はよく調べた内容になっており、子どもの頑張りと先生方の指導の苦労がうかがえた。
- テーマを決めて展示してあるので見やすく、参考になった。
- 調理中の写真を見て、子どものために頑張ってくださっている姿に感激した。

あたたかな 心がかよう おもいやり

朝日ヶ丘小学校 五年 坂倉 未彩
(「差別をなくそう県民運動」入選作品)

最終日の十三日(土)は、激しい雨にもかかわらずたくさんの子も達に来てくれました。他校の作品を見たり試食したりと、給食展を楽しんでいました。



ウィーン交響楽団

ヨハン・シュトラウスアンサンブル

ウィンナワルツにのせて新春の香りをお届けする、結成29年の名門アンサンブル
指揮・ヴァイオリン=ヨハネス・ヴィルトナー/ソプラノ=エリザベート・カーレス

1994年1月13日(木) 6:30PM開演(6:00PM開場)

ルナ・ホール

入場料¥3,000(前売)¥3,500(当日)〈自由席〉
(前売券売切の場合は当日券は販売いたしません)

チケット発売所/
(芦屋)市民センター内ルナ・ロッサ、モンテメーラ大番、芦屋セルヴィス
(大阪・神戸)関西プレイガイド協会(06)456-2555、チケットセゾン(06)308-9999、チケットぴあ(06)363-9999

〈主な演奏曲目〉
ヨハン・シュトラウスII
オペレッタ「こうもり」序曲 ワルツ「南国のバラ」
ワルツ「ウィーンの森の物語」ホルガ「狩り」
ヨーゼフ・シュトラウス
ワルツ「天体の音楽」
ヨーゼフ・ランナー
ワルツ「シェーンブルンの人々」
フランツ・レハール
オペレッタ「ジュディック」から「唇は熱いキスを」
オペレッタ「メリー・ウィドウ」から「ウィリアムの歌」

この「広報あしや」を公演当日ご持参の方は、当日券を前売券料金扱いとします。 ※前売券売り切れの場合は、当日券を発行致しませんので、上記扱いも中止となります。

▷問い合わせ◁
芦屋市文化振興財団
業平町8-24
(☎31-4962)